

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年6月24日 (2010.6.24)

【公表番号】特表2009-535702(P2009-535702A)
 【公表日】平成21年10月1日 (2009.10.1)
 【年通号数】公開・登録公報2009-039
 【出願番号】特願2009-507811(P2009-507811)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/50 (2006.01)

G 0 6 Q 40/00 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/46 4 6 5 D

G 0 6 F 17/60 2 0 8

【手続補正書】
 【提出日】平成22年4月26日 (2010.4.26)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 人のクライアントと通信するための通信モジュールと、
 口座と関連付けられると共に、前記クライアントによって特定されたタスクを処理する
 ためのサーバとを備え、

前記サーバが、複数の口座中心のパイプラインを備えると共に、

1 つ以上の口座中心のパイプラインが、それぞれ前記タスクを処理するように構成され
 る
 ことを特徴とするシステム。

【請求項 2】

1 つ以上の口座中心のパイプラインが、それぞれ前記タスクを列に並ばせるためのパイ
 プライン待ち行列を備える
 ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記サーバが、実行可能なスレッドを前記タスクに割り当てると共に、前記実行可能な
 スレッドを 1 つの口座中心のパイプラインに割り当てるように構成されたパイプラインス
 レッドプールを更に備える
 ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

1 つ以上の口座中心のパイプラインが、それぞれ前記タスクのサブタスクを処理するよ
 うに構成された少なくとも 1 つのイベントプロセッサを備える
 ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

1 つ以上の口座中心のパイプラインがそれぞれ複数のイベントプロセッサを備えて、1
 つ以上のイベントプロセッサがそれぞれ前記タスクのサブタスクを処理するように構成さ
 れると共に、

前記複数のイベントプロセッサが、各サブタスクを順次に連続して処理するように順番
 に配置される

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記口座中心のパイプラインが、前記口座中心のパイプラインを通して連続してタスクを処理するように構成される

ことを特徴とする請求項 5 に記載のシステム。

【請求項 7】

1 つ以上のイベントプロセッサが、前記口座中心のパイプラインを通して連続してタスクを動かすために、それぞれ一時中断フラグまたは失敗フラグを前記サブタスクに割り当てるように構成される

ことを特徴とする請求項 6 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記タスクが、複数の部分から構成される取引注文である

ことを特徴とする請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記複数の部分から構成される取引注文が、オーダキャンセルオーダ（OCO）、オーダセンドオーダ（OSO）、一括売買注文、及びバスケット注文の内の少なくとも 1 つを含む

ことを特徴とする請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

口座と関連付けられるタスクをパイプライン待ち行列に入れて列に並ばせる段階と、
実行可能なスレッドを前記パイプライン待ち行列内の前記タスクに割り当てると共に、
前記実行可能なスレッドを 1 つの口座中心のパイプラインに割り当てる段階と、
前記口座中心のパイプラインを通して前記タスクを処理する段階と
を有することを特徴とする方法。

【請求項 11】

1 つ以上の口座中心のパイプラインが、それぞれ前記タスクのサブタスクを処理するように構成された少なくとも 1 つのイベントプロセッサを備える

ことを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

1 つ以上の口座中心のパイプラインがそれぞれ複数のイベントプロセッサを備えて、1 つ以上のイベントプロセッサがそれぞれ前記タスクのサブタスクを処理するように構成されると共に、

前記複数のイベントプロセッサが、各サブタスクを順次に連続して処理するように順番に配置される

ことを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 13】

前記タスクが、前記口座中心のパイプラインを通して連続して処理される

ことを特徴とする請求項 12 に記載の方法。

【請求項 14】

前記イベントプロセッサの内の 1 つ以上が、前記口座中心のパイプラインを通して連続してタスクを動かすために、それぞれ一時中断フラグまたは失敗フラグを前記サブタスクに割り当てるように構成される

ことを特徴とする請求項 13 に記載の方法。

【請求項 15】

前記タスクが、複数の部分から構成される取引注文である

ことを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 16】

前記複数の部分から構成される取引注文が、オーダキャンセルオーダ（OCO）、オーダセンドオーダ（OSO）、一括売買注文、及びバスケット注文の内の少なくとも 1 つを含む

ことを特徴とする請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

コンピュータ実行可能な命令を有するコンピュータプログラムであって、
前記命令が、コンピュータ上で実行されたときに、
口座と関連付けられるタスクをパイプライン待ち行列に入れて列に並ばせる段階と、
実行可能なスレッドを前記パイプライン待ち行列内の前記タスクに割り当てると共に、
前記実行可能なスレッドを 1 つの口座中心のパイプラインに割り当てる段階と、
前記口座中心のパイプラインを通して前記タスクを処理する段階と
を有する方法をコンピュータに実行するように指示することを特徴とするコンピュータプログラム。

【請求項 18】

1 つ以上の口座中心のパイプラインが、それぞれ前記タスクのサブタスクを処理するように構成された少なくとも 1 つのイベントプロセッサを備える
ことを特徴とする請求項 17 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 19】

1 つ以上の口座中心のパイプラインがそれぞれ複数のイベントプロセッサを備えて、1 つ以上のイベントプロセッサがそれぞれ前記タスクのサブタスクを処理するように構成されると共に、
前記複数のイベントプロセッサが、各サブタスクを順次に連続して処理するように順番に配置される
ことを特徴とする請求項 17 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 20】

前記タスクが、前記口座中心のパイプラインを通して連続して処理される
ことを特徴とする請求項 19 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 21】

前記イベントプロセッサの内の 1 つ以上が、前記口座中心のパイプラインを通して連続してタスクを動かすために、それぞれ一時中断フラグまたは失敗フラグを前記サブタスクに割り当てるように構成される
ことを特徴とする請求項 20 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 22】

前記タスクが、複数の部分から構成される取引注文である
ことを特徴とする請求項 17 に記載のコンピュータプログラム。

【請求項 23】

前記複数の部分から構成される取引注文が、オーダキャンセルオーダ（OCO）、オーダセンドオーダ（OSO）、一括売買注文、及びバスケット注文の内の少なくとも 1 つを含む
ことを特徴とする請求項 22 に記載のコンピュータプログラム。